

2021年度 関係者評価委員会

2021年度深川めぐみ幼稚園 評価

2022年3月30日

2021年度 関係者評価委員会 まとめ

2022年3月30日(火)午後1時30分より、めぐみ幼稚園において2021年度の関係者評価委員会がもたれ、2021年度のめぐみ幼稚園の活動について話し合いを持ち、評価を受けた。

(出席者) PTA 会長 PTA 副会長 監査 会計の四役

学校医1名

深川エマニュエルルーテル教会より代表2名

園長 副園長 主任

以上10名の出席があった。

1. 初めに園長より、本年度の活動の概要と、個々の職員による自己評価の結果内容、およびに次年度にむけての課題等についての報告が行われた。

・自己評価について評価と課題等の報告 (別紙まとめの内容を参照)

(職員の評価について～分析から見てきたこと。課題とその解決策について)

1. 職員の自己評価からわかること

・きわめて真面目に考えている内容であり、自分への通知箋として真摯に考え、自己評価がなされている。これは、職員一人ひとりの園での活動の中にも表れているものである。

・昨年との比較では、ある程度、コロナ禍の対応が考えられて来て、改善されたものを評価してはきている。とりわけ、「保育」については、それぞれの保育者が真剣に考えてきた結果であると思う。保護者の皆様からのご協力に負うところも非常に大きい。

・「地域との関り」、「研修」においては、リモートだけではやはり解決されない点が多い。コロナ後を見通した活動を持つことが大切である。

・「同じこと」の繰り返しの良い点と、マンネリ化する点について、保育者同士でも意見の交換が必要である。同じく、保護者、関係者との意見交流もより一層行う必要がある。

2. 園舎建築について現在の状況報告

・新制度への移行が難しくなった中、現在と同じ「幼稚園」としての運営と活動を継続することとなった。併せて、新園舎の建築については、しばらくの間は、計画を考える期間となる。

3. 委員会よりのご意見、ご提案をうかがい、園の運営、活動に反映させていく

・新たな取り組み・継続してほしい取り組み・園の活動の活性化のためのヒント、アイデア等・その他、お気づきな事、提案など、本日の会議の中で、ご提案いただければ幸いです。

委員会より出た意見・評価等

(行事等の活動について)

- 行事の際の三脚は許可してほしい (委員より)
 - ・写真とビデオを一人で撮るのは大変であった。コロナで一人参観の場合は特に。
 - ・周りの人に邪魔にならない範囲で許可していただきたい。
 - 親としては、今までしていた、年長のお遊戯と楽器が今年度なくなり、来年は取り組んでいただきたい(委員より)
 - ・行事のための保育、行事のための準備の子どもたちへの負担が大きく、ずっと職員間で話し合ってきており、今年度は、取りやめとした。(幼稚園より)
 - ・生活発表会にどのような事に取り組むかは、クラス担任で考えて決めた。どの学年だからお遊戯をする。ということは決まっていない。お遊戯と歌や、手遊びを2つ取り組んだクラスもあった。来年度も、どの取り組みを発表会とするかは、クラス担任が決め、取り組んでいく予定である。(幼稚園より)
 - 楽器については、年長さん以外のクラスは取り組んでいるのか。(委員より)
 - ・発表という形でなく、参観日等で取り組んでいる楽器の取り組みなども、出来上がった発表でなくても、高度なことでもなく、取り組んでほしいし、その取り組んでいる姿を見てみたい。(委員より)
 - ・コロナで、園でのお子さまの様子を、参観日のその時間だけ来ていただく形だったので、いろいろなお子さまの成長の様子を見ていただく機会がほとんどなかったように感じている。こどもたちは、自由遊びの時間にも踊ったり、体操したり、製作したり、様々な活動をしている。来年度は、コロナの状況によるが、取り組んだり、練習したものを参観していただくだけでなく、なるべくお子さまの園での遊びや、活動の様子を工夫して、参観していただけるようにしていきたい。(園より)
- *行事内容の変更などについて、保護者に対して十分な周知がなされていなかったことが反省として残った。園の年間指導計画を早めに策定して、行事ごとの「目標（ねらい）」、「活動から得られるもの（成果）」、「今後へのつながり（評価）」などをはっきりとさせていくことが必要であることが明らかになった。**
- 親子遠足について、兄弟同時在園だと、他のクラスの交流が持ちにくかった。
食事・親子ゲーム・歩いているときなど。兄弟とは別な日にしていただきたい。(委員より)
 - ・野外活動だと、雨天延期など各クラス分日程をとるのが、保護者の休みをとる関係で難

しいように思う。来年度は、改善して親子遠足を行ないたい。(幼稚園より)

○子どもは、練習も遊びとして練習している。行事に追われて伸び伸び遊べないから、その活動をとめるのはどう思うのか。音楽も、体操も子どもたちは大好きなので、経験している姿を、良い思い出として、保護者にみせてあげてほしい。何かを取り組むときに、子どものために、この経験はどうか。ということ、まず考え、無理があるからやめるではなく、次に子どもに無理がない内容を考え、時間の使い方を考え、その上で、さまざまな活動を豊かな成長や喜び、思い出に繋げていって行くことを課題としていってほしい。また、いつも先生たちは、考えてくださっているとは思いますが、親のニーズや気持ちのことも、耳を傾けていってほしい(幼稚園運営委員より)

(その他の園での活動について)

○終業日などの荷物の際に、年齢の低い子は、持ち物が多いようだ。ひっくりかえりそうになったり、バスなど紐が首に引っかかりそうになったりしてかわいそうな時がある。日分けて持ち帰るなど、年齢やその子に合わせていただきたい。(委員より)

○歯科検診は、歯について気になる点は園に知らせ、園から保護者のかたにお伝えして行くようにしたい。また、緊張が和らぐ雰囲気づくりをこれからも心掛けていきたい(園医より)

○教会としては、多くのことをしてあげていないが、卒園児への聖書のプレゼントや、ヨベル基金をお送りしていきたい。(幼稚園運営委員より)

○街でめぐみの子どもたちの手作りのものが飾られているのを、見かけることがある。人のために、喜んでいただける経験はとても大切で、継続していってほしい。(幼稚園運営委員より)

○先生たちは、全部子どもたちのことを考えてくださっている。これからも、人と人との繋がりを大切に、伸び伸びとした子どもたちを育てていってほしい。(幼稚園運営委員より)

○園舎建築についての補助金面の補足事項についての報告(副園長先生より)

○コロナや、ノロウイルスによる先生たちの以前より増した作業について。先生たちの消毒等の多くの働きがあり、卒園式が無事出来たことが感謝であった。(副園長先生より)

以上 文責 園長